

安全データシート

(表紙)

化学品及び会社情報

製品名

PB-50錠剤

販売会社名

丸和バイオケミカル株式会社

住所

東京都千代田区神田須田町二丁目5番2号

担当部門

開発本部 開発部

電話番号 / FAX

Tel: 03-5296-2313 Fax: 03-5296-2323

推奨用途及び使用上の制限

微生物サッチ分解資材

本製品に関するその他の情報については、次ページ以降の安全データシート(SDS)を参照してください。

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名	PB-50錠剤
会社名	保土谷UPL株式会社
住所	〒103-0027 東京都中央区日本橋三丁目14番5号 祥ビル
電話番号	03-6225-3191
緊急連絡電話番号	03-6225-3194(営業部)
FAX番号	03-6225-3197
メールアドレス	hodogayaupl@hodogaya-upl.com

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	分類基準に該当しない	
健康に対する有害性	皮膚腐食性/刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分外
環境に対する有害性	分類できない	

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別
 一般名

混合物
 PB-50錠剤

成分	濃度又は濃度範囲	官報公示整理番号		CAS番号
		化審法	安衛法	
PB菌	>=10 <=15 %	対象外	対象外	なし
その他成分	>=85 <=90 %	非公開	非公開	非公開

4. 応急措置

吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹼で洗うこと。
目に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 大量に飲み込んだ場合は、速やかに医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤	粉末消火剤、一般の泡消火剤、二酸化炭素、砂、噴霧水 大火災:大量の散水、水噴霧
-----	--

特有の消火方法	周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、周辺火災に応じて適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
回収・中和	物質を吸込み又は掃き取って廃棄用容器に入れること。 不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。
封じ込め及び浄化方法・機材	水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。 作業の際には保護具を着用し、拭き取るか真空で吸い取るなど速やかに出来るだけ粉塵が飛散しない方法で空容器に回収する。 除去後、汚染現場を水で完全に洗浄する。
二次災害の防止策	すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
	局所排気・全体換気	『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
	安全取扱い注意事項	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 高温、直射日光を避ける。 粉じん、ヒュームの吸入を避けること。
	接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管	混触危険物質	『10. 安定性及び反応性』を参照。
	保管条件	容器は直射日光や火気を避けること。 容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。
	容器包装材料	紙袋(クラフト、内側PEラミ加工等) ポリエチレン、ポリプロピレン等の容器 ポリエチレン袋

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	粉じんが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 本製品を貯蔵又は使用する設備は、眼洗浄施設及び安全シャワーを設置したほうがよい。
保護具	呼吸器の保護具 防塵マスク、簡易防塵マスク

	手の保護具	保護手袋(ゴム製、プラスチック製)
	眼の保護具	ゴーグル型保護眼鏡
衛生対策	皮膚及び身体の保護具	ゴム前掛け、長袖作業衣
		取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	形状	灰白色錠剤
	色	茶褐色
	臭い	情報なし
	pH	情報なし
比重(密度)		0.74g/mL
溶解性		情報なし
粉じん爆発下限濃度		情報なし

10. 安定性及び反応性

安定性	(熱) 20℃以上に長時間暴露すると死滅する。 (光) 紫外線によって死滅する。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	直射日光、火気
混触危険物質	強酸化剤、還元剤、殺菌剤。
危険有害な分解生成物	不完全燃焼時にCO、CO ₂ が発生する可能性がある

11. 有害性情報

経口(根拠)	情報なし
経皮(根拠)	情報なし
吸入:粉じん(根拠)	PB菌としての吸入毒性(U.S.GLPs(40CFR792);TSCA)) マウス♂に対して 1.17×10^7 cfu/匹、マウス♀に対して、 1.14×10^7 cfu/匹の菌数を吸入させる試験の結果、臨床検査、解剖検査、臓器重量、臓器組織検査および体重とも異常は認められなかった。 その他成分については、情報なし。 製品としてデータ不足のため、分類できないとした。
皮膚腐食性/刺激性(根拠)	ウサギを用いた皮膚一次刺激性試験において、刺激性を認めなかったことから、区分外とした。
眼に対する重篤な損傷/刺激性(根拠)	ウサギを用いた眼粘膜一次刺激性試験において、刺激性を認めなかったことから、区分外とした。

呼吸器感作性(根拠)	情報なし
皮膚感作性(根拠)	情報なし
生殖細胞変異原性(根拠)	情報なし
発がん性(根拠)	情報なし
特定標的臓器／全身毒性(単回ばく露) (根拠)	情報なし
特定標的臓器／全身毒性(反復ばく露) (根拠)	情報なし
吸引性呼吸器有害性(根拠)	情報なし

12. 環境影響情報

環境に対する有害性

水生環境急性有害性 水生生物への毒性: 情報なし

環境影響その他 PB菌が産生する物質は、有機酸(クエン酸、シュウ酸)で植物根の働きを助長する。産生する有機酸の量(液体培養時)は、乾燥菌体1g換算で10mmolで、土壌全体のpHに影響を与えない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制 海上規制情報 UN No. 該当しない

航空規制情報 UN No. 該当しない

国内規制 海上規制情報 該当しない

国連番号 該当しない
航空規制情報 該当しない
国連番号

特別安全対策 輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

15. 適用法令

該当法規なし

16. その他の情報

その他 記載内容は、現時点で当社が入手した資料・データ等に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。